



北米ホーリネス教団
オレンジ郡
キリスト教会
「週報」

2015年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 聖書日課に励もう
3. 祈り会に参加しよう
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am
 コヒーアワ : 日曜日 10:45~11:15am
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm
 みふみ会 : 水曜日 10am
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm
 早天祈禱会 : 土曜日 7am
 家庭集会 : 各地区に2箇所
 牧師 : 杉村 幸 (日語部)
 : 益田デーロ (英語部)
 電話 : (714) 827-6244 (教会)
 : (714) 527-1456 (牧師館)
 E-Mail : sugimurai950@gmail.com
 教会ホームページ : www.occc.org
 教会所在地 : 4872 Bishop St.
 Cypress, CA 90630

◎石叫◇ 「日本にきたユダヤ難民」①

『日本にきたユダヤ難民』(原書房・一九九二年)の著者、ゾラフ・バルハフテイク博士は、自分自身、難民の一人としてヒットラーの魔手を逃れ、日本に渡り、それから念願であった祖国イスラエルに帰還した。彼は当初からユダヤ人リーダーとして、その生死をかけた活動の中心に飛び込むことになる。彼はイスラエル独立宣言の署名者の一人として名をつらね、第一回総選挙から国会議員として活躍、その後十二年間、宗教大臣として要職にあった。

第二次大戦の勃発(一九三九年九月)と共にポーランドからユダヤ人たちがリトアニアへ逃げ、救援活動はこの難民社会の中で実行された。ナチスのポーランド侵攻によって彼らはリトアニアに脱出する。彼らは二年以上にもわたっているいりるな脱出方法を考えた。その一つはシベリヤ経由で日本に行き、究極の目的地である西側とイスラエルをめざすことであった。

図らずして日本とユダヤ人との間に交流が始まったが、それは日本の人道精神が問われるものだった。一九三九年三月、ヒットラーのもとに迫害されていたオーストリア在住のユダヤ人たちがイタリヤ船や日本郵船の船で、ビザの必要のない上海をめざした。彼らはシベリヤ経由でやってきた。一九四一年七月から翌年五月までドイツやリトアニアからは四六六四人のユダヤ人が来日した。シベリヤ鉄道を経て数千のユダヤ人が上陸した日本の地は敦賀であった。それから彼らは神戸に集まった。難民の中にはかなりの神学生も含まれており、もみあげを長く垂らし、あごひげをのばしたユダヤ人は、日本人にはめずらしかった。彼らは個々人が身のふり方を考えた。イスラエル、アメリカ、上海へ一時居留をめざす者たちで神戸の街はあふれた。結局、リトアニアから日本には約三〇〇〇人の難民が到着した中で、イスラエルへは四〇〇名が、アメリカへは五〇〇名、その他の多くは上海に渡った。

ユダヤ難民たちがイスラエルをはじめ諸外国の入国許可を得るのに時間がかかったこともあり、日本政府は彼らの滞在期間を短くし、政府は難民を早くどこかに移せと執拗に圧力をかけた。ドイツとの同盟条約があり、松岡洋右外相は、ユダヤ人の受け入れ能力はすでに限界を超えている、と言った。しかしながら、ユダヤ人と初めて接触した日本人は迫害するわけでもなく、憐れみの目で彼らを見つめ、むしろ親切にし、中田重治を中心とする東洋宣教会ホーリネス教会の関係者たちは、ユダヤ難民を懇切に世話している。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。

私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

